

各 位



2022 年 7 月 12 日

会 社 名 株 式 会 社 中 西 製 作 所  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 中 西 一 真  
(コード番号：5941 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 室 長 吉 川 日 出 行  
(T E L 03-5541-6333)

## 中期経営計画（2022～2024 年度）策定に関するお知らせ

当社は、2022年度から2024年度までの3ヶ年を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

### 記

#### 1. 基本方針

- (1) 既存のマーケットにおけるシェアやプレゼンスを維持しつつ、周辺分野へ販路を拡大。
- (2) 新規市場に対しての製品開発と人材育成を行い、競争力を強化。

#### 2. 経営目標

(単位：百万円)

|      | 2022 年度予想 | 2024 年度目標 | 増減      |
|------|-----------|-----------|---------|
| 売上高  | 29,500    | 32,500    | + 3,000 |
| 経常利益 | 1,050     | 1,650     | + 600   |

#### 3. 主要な施策

- (1) 従来通り学校・病院市場を基礎ベースとしつつ、成長分野としては外食・食品加工市場やエンジニアリング・コンサルティング等の周辺領域へのにじみ出し戦略を遂行。
- (2) 環境課題や社会課題に配慮して、省人化、省エネルギー化、節水型、リサイクル対応といった SDGs に貢献する製品を積極的に開発。
- (3) 多様な人材が活躍できる環境を整え、生産性向上、多様なニーズに対応するダイバーシティを推進。
- (4) ESG への取組やコーポレートガバナンス・コードへの対応、社員満足度の向上を通じて、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指す。

#### 4. 配当政策

当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、企業体質の充実・強化を図りつつ、配当性向 30%を目処に持続的な配当額の増額を目指してまいります。

※ 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上

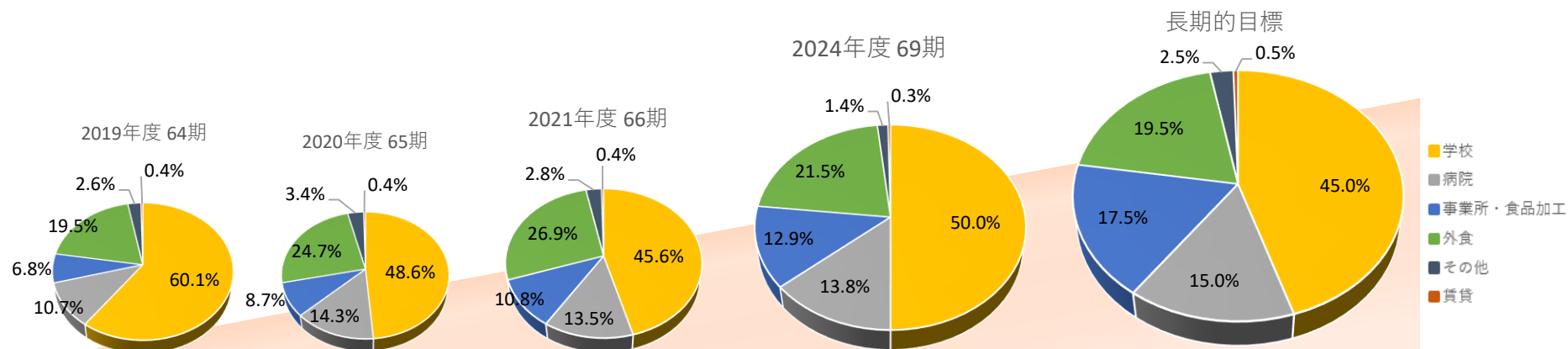
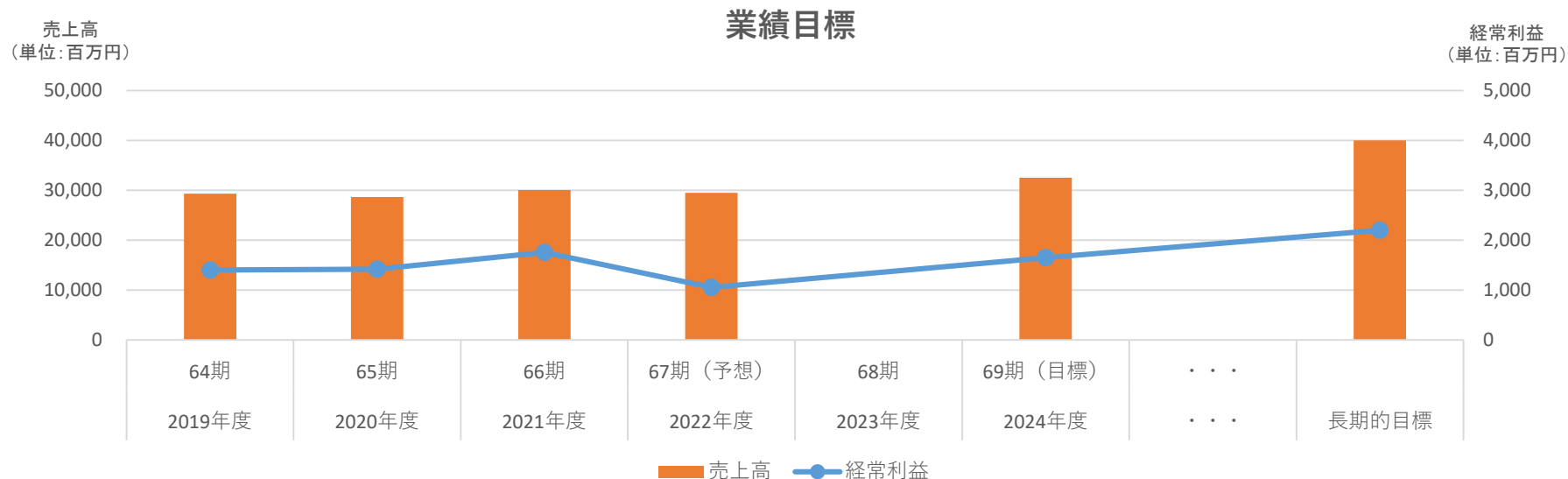


株式会社 中西製作所

# 中期経営計画 (2022～2024年度) － 事業ドメインの深耕拡大 －

# 目標値

- 2025年3月期は売上高325億円とし、長期的には売上高400億円を目指す
- 製品の開発・改良を継続し、経常利益ベースでの増益の継続を目指す
- 成長分野や、その周辺分野の開拓を推進し、新市場の獲得を目指す



# 中期経営計画（コンセプトと基本方針）

- 既存のマーケットにおけるシェアやプレゼンスを維持しつつ、周辺分野へ販路を拡大する
- 新規市場に対しての製品投入と人材育成を行い、競争力を強化する

## 販路拡大

学校・病院市場を基礎として社会情勢の変化に対応しつつ維持、成長分野としては、外食・食品加工といった周辺分野やエンジニアリング・コンサルティング等の関連企業への営業推進

- にじみ出し戦略により、自社だけでなくグループ企業や外部企業との協業、M & A等を推し進め、より迅速かつ効果的に市場を開拓
- 市場開拓の為に地域ごとのターゲットに対して担当者を配置し、本部のシンクタンク体制と連携し、基礎ベースとは異なる市場へもチャレンジ
- チャレンジ投資として地域ごとにターゲットを定めて、優先的に資源を投入

## 製品力アップ

対象とする市場と顧客の拡大に伴い、製品ラインナップを見直し魅力ある製品群を開発

- 長年培ってきた基幹技術を転用した新製品、新分野向け製品を開発
- 市場ニーズの察知力を活かし時流に合致させ、汎用製品を特注転用し拡販
- 社会情勢にあわせて環境課題や社会課題に配慮し、省人化、省エネルギー化、節水型、リサイクル対応といったSDGsに貢献する製品を増加
- 製品ごとに設計・組立・体制までを抜本的に見直し、生産効率15%アップを実現

## 人材育成・インフラ

厨房調理機器のトータルコーディネートと一貫した提案を行える人材、新市場の環境変化に対応できる人材を育成するための様々な取り組みを実施

- 新規採用方法、中途採用手段、就業形態を見直し、多種多様な働き方を実現
- 階層別・マーケット別研修の定例化や外部研修の活用で専門性の高いスペシャリスト育成
- 社員のITリテラシーを上げ情報武装を超えたビジネス上のルールチェンジ（DX）を実現
- 老朽化するインフラ（本社、工場、システム）については継続的に投資

# 社内外のステークホルダーに対してのアクションプラン

- ESGへの取組やコーポレートガバナンスコードへの対応、社員満足度の向上にも取り組み、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指す

## ESGへの取組

- 「環境にやさしい製品の開発」「積極的な地域交流」「オフィスの節電」「質の高い社員教育」「働きがいのある職場環境づくり」の5つをSDGsの具体的目標として推進
- 企業版ふるさと納税などの諸制度を活用して、各自治体の少子化対策や次世代育成政策を応援

## コーポレートガバナンス コンプライアンス

- 東京証券取引所の定めるコーポレートガバナンス・コードの趣旨・精神を十分に踏まえたうえで、各原則の実行に努める
- 当社では、各社員に配布している中西製作所行動規範に基づき、お得意先様、お取引先様、株主・投資家の皆様以外にも、数えきれないステークホルダーに対して、法的・社会的・論理的責任を負った日々の行動を徹底

## 社員満足度向上

- 多様な人材が活躍できる環境を整え、生産性向上、多様なニーズに対応するダイバーシティを推進
- 働き方改革の推進と健康経営へ継続的に取り組む
- 戦略的人材育成のためのOff-JT、OJT、自己啓発の機会増大を支援

## 資本政策

- 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、企業体質の充実・強化を図りつつ、配当性向30%を目処に持続的に配当額を増額、その他の株主還元策の導入も検討
- 内部留保金については、経営環境の変化に機能的に対応するための資金とするとともに、資源確保、新技術の開発、設備投資、等々に活用